

14 柔 道

1 期 日 令和7年7月26日(土) 7月27日(日) 予備日7月29日(火)

<7月26日(土)> 団体戦(男・女)

受 付 午前9時00分～9時30分

※引率者・監督が受付を済ませてください

計 量 午前9時00分～9時45分 (4(3) 参照)

審判打合せ 午前10時00分～10時15分

試合開始 午前10時30分

<7月27日(日)> 個人戦(男・女)

受 付 午前9時00分～9時30分

計 量 午前9時00分～9時45分 (4(3) 参照)

審判打合せ 午前10時00分～10時15分

試合開始 午前10時30分

2 会 場 メディアス体育館ちた(知多市民体育館)

3 参加人員(「5 参加チームの選出方法」「6 参加資格」参照)

団体戦 男子1所属1チーム(監督1名、選手5名、補欠2名)

女子1所属1チーム(監督1名、選手3名、補欠1名)

個人戦 男子8階級、女子8階級

4 競技上の規則および方法

(1) 国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」による。

① 試合時間は、団体戦・個人戦共に3分間とする。3回目の「指導」が与えられた時点で「反則負け」とする。延長戦(ゴールデンスコア)は、時間無制限とする。抑え込みのスコアは、有効5秒、技有10秒、一本20秒とする。

② 個人試合及び任意の選手によって行われる団体戦の代表戦は、「一本」「技有」「有効」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。直接もしくは累計による「反則負け」を除き、「指導」(1回目)の違いだけでは勝者は決定しない。「指導」は、相手のスコアにならない。

③ ゴールデンスコアについては、規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」差1以下の場合、その試合はゴールデンスコアに突入する。ゴールデンスコアに入る前の規定試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。スコアが与えられた時点で、ゴールデンスコアは直ちに終了する。ゴールデンスコア中に「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了する。

④ 団体試合の個々の試合の優勢勝ちの判定基準は、技の評価は「有効」以上とするが、技の評価が同等の場合、「指導」差が2以上開いたとき、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。「指導」差が1以下の場合、「引き分け」とする。代表戦は、任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝負の決定方法は個人戦と同様とする。

(2) 試合方法

【団体戦】

① トーナメント方式とする。

② 勝負は、勝数の同じ場合は、内容により決定する。(①「一本」・「反則勝ち」②「技有」③「有効」④「僅差」) 内容も同じ場合は「引き分け」とし、任意の選手による代表戦を一回のみ行う。

③ チーム編成は、最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。

(参加申込書に体重を記入する。)

④ 選手の交代は、届出の補欠をもってあてる。この場合も、順次体重順の編成とする。いったん交代した選手は、再び出場できない。

【個人戦】

- ① 階級別トーナメント方式とする。
- ② 体重別階級は、次のとおりとする。

男子	☐ 50 kg級 (50 kg以下)	☐ 55 kg級 (50 kg超～55 kg以下)
	☐ 60 kg級 (55 kg超～60 kg以下)	☐ 66 kg級 (60 kg超～66 kg以下)
	☐ 73 kg級 (66 kg超～73 kg以下)	☐ 81 kg級 (73 kg超～81 kg以下)
	☐ 90 kg級 (81 kg超～90 kg以下)	☐ 90 kg超級 (90 kg超)
女子	☐ 40 kg級 (40 kg以下)	☐ 44 kg級 (40 kg超～44 kg以下)
	☐ 48 kg級 (44 kg超～48 kg以下)	☐ 52 kg級 (48 kg超～52 kg以下)
	☐ 57 kg級 (52 kg超～57 kg以下)	☐ 63 kg級 (57 kg超～63 kg以下)
	☐ 70 kg級 (63 kg超～70 kg以下)	☐ 70 kg超級 (70 kg超)

(3) 計量

- ① 団体戦 (男女とも) 7月26日 (土) 午前9時00分～9時45分
- ② 個人戦 (男女とも) 7月26日 (土) 午前9時00分～9時45分
7月27日 (日) 午前9時00分～9時45分

(注)・ 計量時間を厳守のこと。上記時間以降は失格とする。

- ・ 個人戦出場の選手は、7月26日・7月27日のどちらかでパスすればよい。
 - ・ 計量時の服装は、男子は下穿きのみ、女子はTシャツと下穿きを着用する。
- なお、下着の着用は認めるが、包帯・サポーターなどの着用は一切認めない。

※ 別室計量について

①必要な選手は申し出る。

②係の判断により必要と認められた選手は係から指示されることがある。

- ③ 体重が適合しない場合は失格とする。無理な減量を行わない。

(4) 国際柔道連盟試合審判規程(2025. 4. 1 施行ルール)及び国内における「少年大会特別規程」(2022. 4. 1 施行ルール, 2024. 4. 1 一部変更)について、特に次の点に留意する。

- ① 以下の場合については、「反則負け」の罰則が与えられる。

ア 柔道精神に反する行為をした場合には、直ちに「反則負け」を与えられる。

イ 攻撃・防御において、故意に相手の関節を極めた場合には「反則負け」が与えられる。

ウ 故意に相手の足を踏みつけて技を仕掛ける及び故意に相手の頭髪を掴んで技を仕掛ける行為をした場合には、「反則負け」が与えられる。

- ② 以下の場合については、「指導」の罰則が与えられる。

ア 関節技及び絞技を用いた場合には「指導」が与えられる。

イ 主審が「待て」をかけても、乱れた柔道衣を直そうとせず、放置し乱れたまま「始め」を待っている時に主審より柔道衣を直すよう指示された場合、これを1回目とカウントし、2回目以降はその都度「指導」が与えられる。

ウ 攻防に関係のない行為で、相手の柔道衣を乱す行為をした場合には「指導」が与えられる。

エ 標準的でない組み方の場合、攻撃しなければ「指導」が与えられる。

オ 手と腕で輪を作ってベアハグを施した場合は「指導」が与えられる。

カ 攻撃をしようとしないう、防御姿勢など柔道精神に反する消極的な行為に対しては厳しく「指導」が与えられる。

キ 立ち姿勢で相手の背部又は帯を握り続ける行為には「指導」が与えられる。

ク 両膝を最初から畳について背負投等を施す行為には「指導」が与えられる。

ケ 無理な巻き込み技を施す行為には「指導」が与えられる。

コ 相手の頸を抱えて大外刈、払腰を施す行為には「指導」が与えられる。

サ 内股上部より下に腕(肘)や手で脚を引っ掛けたり、脚を抱えたり、下履きを掴んだり、触れる行為には、「指導」が与えられる。

シ 「逆背負投」(通称)の様な技を施した場合には「指導」が与えられる。

ス 両袖を持って技を施した場合には、「指導」が与えられる。

- ③ その他について

ア 変則の組手[クロスグリップ、片襟、帯を握る行為、ピストルグリップ、ポケットグリップ等]は、攻撃準備の動作がなければ指導が与えられる。

イ 寝技の攻撃・防御において、脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断したときは「待て」とする。
ウ 故意ではなかったが、絞技および関節が極まった場合は、「待て」とする。

※悪質でない場合は、③ウを適用する。

エ ゴールデンスコア時における「抑え込み」の場合、5秒(有効)で試合終了とする。

(5) 競技役員は、運動部会で決定する。

(6) 組合せは、運動部会で代理抽選によって決定する。

5 参加チームの選出方法

団体戦 男子 名古屋支部6チーム、東三河支部6チーム、西三河支部6チーム、
東尾張支部(愛日3チーム・知多5チーム)、西尾張支部6チーム

女子 名古屋支部4チーム、東三河支部6チーム、西三河支部6チーム、
東尾張支部(愛日4チーム・知多4チーム)、西尾張支部8チーム

愛知県柔道連盟より推薦された地域クラブ活動男女各最大4チーム

個人戦 男女とも

各階級名古屋支部8名、東三河支部4名、西三河支部4名、東尾張支部(愛日4名・知多4名)、西尾張支部4名 ※愛知県中学生体重別柔道大会で、上位4位に入賞した地区が、4つの出場枠を得る。

6 参加資格

(1) 第79回愛知県中学校総合体育大会実施要項第5項による。

(2) 「愛知県中学校総合体育大会に関わる参加資格の特例」に該当する団体に所属し、個人戦に参加する者は、5に定める支部大会に参加し出場資格を得ること。参加する支部は、地域クラブ活動加盟申請書に記載した「主な活動場所」により決定する。

7 参加料

(1) 参加選手[大会申込書に記入された選手]一人につき1,000円とする。

※ 団体戦と個人戦の両方に出場しても1,000円とする。

(2) 参加料は、原則として、県大会参加申込書を各支部の運動部員代表に提出する際に併せて納める。ただし、各運動部で提出日・提出方法が定められている場合は、それに従う。

8 引率者・監督・コーチ

(1) 参加生徒の引率者・監督は当該校の教員とする。ただし、学校事情により当該校の校長が認めた引率者としての外部指導者(コーチ)に監督の資格を認める。地域クラブ活動所属で参加する場合、参加生徒の引率者・監督は、責任ある代表者、指導者で地域クラブ活動加盟申請書に記載された者とする。

(2) 引率者・監督がいない場合は、出場できない。

(3) ベンチ入りするコーチは、当該校の教員以外の者でもよい。ただし、20歳以上であり、校長の承認した者で、継続的に指導を行っている者とする。地域クラブ活動所属で参加する場合、地域クラブ活動加盟申請書に記載された者とする。

(4) 当該校の教員以外の者をコーチとしてベンチ入りさせる場合は、コーチ(外部指導者)確認書(校長承認書)を大会参加申込書と一緒に提出する。

(5) 監督・コーチは審判員(白ワイシャツ、グレーズボン)に準じた服装をする。

(6) コーチは1チーム1名とし、他チームと兼ねることは不可。但し、同一チームで男女ともに出場権を得ている場合には、男女それぞれに1名置くことができる。

(7) 監督・コーチは、「試合場におけるコーチの振る舞いについて」の規定を厳守すること。

9 表彰

第79回愛知県中学校総合体育大会実施要項第8項による。

10 申込方法

(1) 第79回愛知県中学校総合体育大会実施要項に基づき、柔道部が指定する様式で申込書を作成し、データ1部、紙媒体2部を各支部運動部代表に提出する。

(2) 各支部運動部代表への提出期限は、7月24日(木)とする。

(3) 団体戦の場合、申込期日後でもやむをえず参加できない選手の補充は、選手変更届を当日本部に提出すれば認められる。

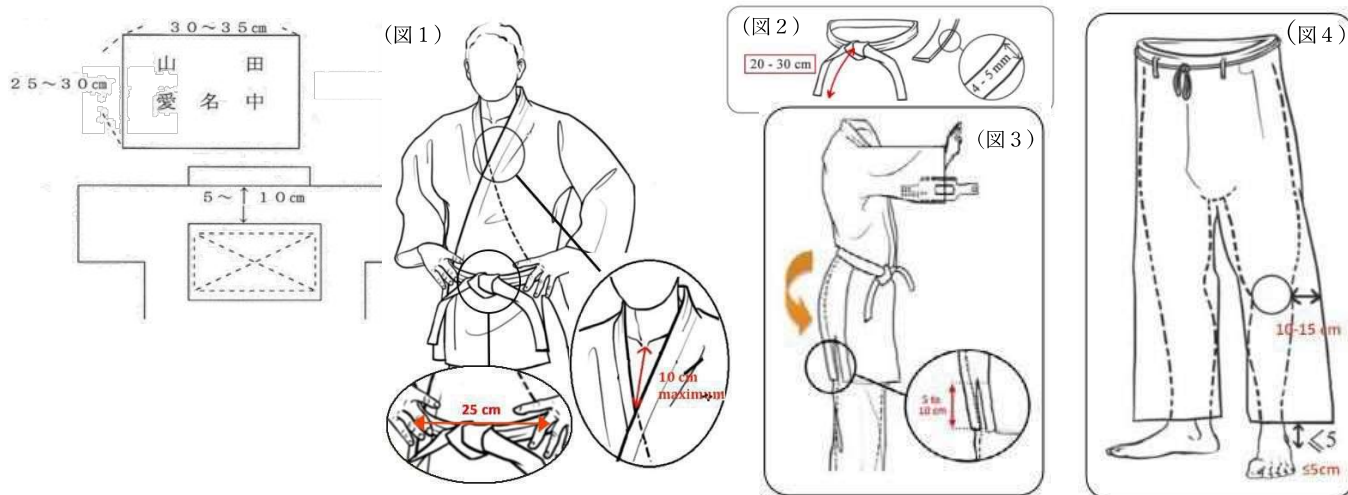
(4) 別様式については、愛知県中小学校体育連盟のホームページに掲載する。

11 その他

(1) 現行の(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。

① 上衣・下穿きは、IJFロゴ(赤)またはJU0000/JUB000の赤文字ラベルのもの

- ② 帯は、IJFロゴ(赤/青)またはJU000の赤文字/黒文字ラベルのもの
- (2) ゼッケンの着用 ※下記の図参照
柔道衣背部にゼッケン(チーム名・名字入り)を着用
- ① 布地は白色(晒、太綾) ② サイズは 横 30~35 cm 縦 25~30 cm
- ③ 名字(姓)は 上側 2/3 ④ チーム名 下側 1/3
- ⑤ 書体は太字ゴシック体(明朝、楷書でもよい) 男子は黒色、女子は濃い赤色
- ⑥ 縫い付けの場所は、後ろ襟から5~10 cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (3) 柔道衣の大きさ ※下記の図参照。2025 年度までは移行期間とし、日本中体連柔道競技部からの通知に従う。
- ① 胸骨上部頂点から襟の交差部が10cm以下、上衣を前で重ねた下襟の距離が25cm以上(図1)
- ② 帯の結び目から端が20~30cm(図2)
- ③ 袖の長さが腕を真っ直ぐに伸ばして掌で三角形を作った状態で、手首の骨を含めて腕全体が覆われる長さ
- ④ 上衣が前後同等の長さでお尻を完璧に覆っていて、帯からの長さが階級の規程に合っている(73kg以下の階級:20cm以上/73kg以上の階級:25cm以上)(図3)
- ⑤ 下穿きの長さは、裾口からくるぶしの外側までの距離が5cm以下、幅は膝の位置で10cm~15cm(図4)
- (4) 女子選手のTシャツ
- ① 色は白(透けない)、半袖、丸首
- ② 製造業者のマークは最大30 cm²で柔道衣着用時に見えないもの
- ③ 所属名称や所属エンブレムを左胸につけることは認められ、最大100 cm²



- (5) 団体戦男女優勝チームは、全国中学校柔道大会へ出場する。
- (6) 個人戦各階級の優勝者は、全国中学校柔道大会へ出場する。
- (7) 団体戦男子の上位4チームは、東海中学校総合体育大会へ出場する。
- (8) 団体戦女子の上位2チームは、東海中学校総合体育大会へ出場する。
- (9) 個人戦男子の各階級上位4名は、東海中学校総合体育大会へ出場する。同女子の各階級上位2名は、東海中学校総合体育大会へ出場する。
- (10) 組合せ会は、7月24日(木)午前9時30分 愛知県教育会館で行う。
- (11) 大会に関する問合せは、愛知県中小学校体育連盟事務局(Tel.052-251-8114)とする。

〈会場の住所・電話番号〉

メディアス体育館ちた(知多市民体育館)

住 所 知多市緑町5番地

電 話 0562-33-3361

交通機関 名鉄/常滑線「朝倉」下車→徒歩10分